R8.4.1

回復期リハビリテーション病棟入院料の施設基準に関する掲示

1　退棟患者数（令和8年1月～令和8年3月）

①　回復期リハビリテーション病棟からの退棟患者数	82名
②　①のうち回復期リハビリテーションを要する状態の患者数	80名

③	状態の区分別内訳	患者数	割合
i	脳血管疾患、脊髄損傷、頭部外傷、くも膜下出血のシャント手術後、脳腫瘍、脳炎、脊髄炎、多発性神経炎、多発性硬化症、腕神経叢損傷等の発症後若しくは手術後の状態又は義肢装着訓練を要する状態	44	54.9%
ii	大腿骨、骨盤、脊椎、股関節若しくは膝関節の骨折又は２肢以上の多発骨折の発症後又は手術後の状態	5	6.3%
iii	外科手術又は肺炎等の治療時の安静により廃用症候群を有しており、手術後又は発症後の状態	1	1.3%
iv	大腿骨、骨盤、脊椎、股関節又は膝関節の神経、筋又は靭帯損傷後の状態	0	0.0%
v	股関節又は膝関節の置換術後の状態	30	37.5%

2　実績指数（直近6か月）

④　実績指数（ ⑤／⑥ ）　令和8年4月1日	74.5
⑤　退院時のFIM得点から入棟時のFIM得点を控除した総和	6,013
⑥　入棟から退棟までの日数を、患者の入棟時の状態に応じた回復期リハビリテーション病棟入院料の算定日数上限で除した総和	80.7

$$\text{実績指数} = \frac{\text{⑤ FIM運動項目の得点 退棟時 − 入棟時 （対象患者の合計）}}{\text{⑥ 在棟日数 ÷ 入棟時の状態での算定日数上限（対象患者の合計）}}$$